

仙台市中小企業 C H A L L E N G E チャレンジ補助金



City of Sendai



募集要領をダウンロードし
申請前ご確認ください

コロナ禍における厳しい現状を打破し、
ウィズ(アフター、ポスト)コロナを見据え、
社会の変化に適応した
新たな商品やサービスの開発、
新分野展開などに挑戦する
事業者をサポートする補助金です。

補助額:

上限 **300** 万円

補助率 2/3 または 3/4 (売上減少割合による)

募集締切:

令和3年 **7月7日**(水)

新型コロナウイルス感染症の影響による
社会の変化に適応した事業者の [チャレンジ・チェンジ] を応援します

CHALLENGE

仙台市中小企業 チャレンジ補助金



新型コロナウイルス感染症の影響による社会の変化に適応するため、新たな商品やサービスの開発、新分野展開などに取り組む市内の事業者を支援し、地域経済を牽引する事業の創出を図ります。

対象者

- 中小企業者等*：市内に本店又は主たる事務所の登記を行っていること
* 資本金の額等が10億円未満(定められていない場合は、常勤の従業員数2,000人以下)の法人
- 個人事業者：市内に住民登録があることまたは市内に施設を所有・賃借し、当該施設で事業を行っていること

主な対象要件

詳しくは
募集要領を参照

- 1 令和3年1月から同年6月までのうち、任意の1か月の売上高が、その前年又は前々年における同一月の売上高と比較して10%以上減少していること。
- 2 以下の要件のいずれかに該当する事業(チャレンジ事業)であること。
 - ア 新型コロナウイルス感染症の流行による社会の変化に適応するため、新たな製品や商品、もしくはサービスを提供する事業。
 - イ 新型コロナウイルス感染症の流行による社会の変化に適応するため、製品又は商品もしくはサービスの製造方法又は提供方法を変更する事業。
- 3 本補助金に採択された場合、本市及び関係機関等からの進捗状況の確認や伴走型の支援を受けること。また、事業の実施内容をロールモデルとして公表することに同意いただくこと。
- 4 同じ事業について、他の補助金等の交付決定を受けていないこと。

補助金支給額

一事業者あたり上限300万円。
ただし補助対象経費総額の2/3*を上限とします。

[採択事業者数：最大20者程度]

- * コロナ特別枠として、売上減少割合が30%以上の事業者の場合、補助対象経費総額の3/4を上限とします。
- 新型コロナウイルス感染症に係る感染防止対策経費については、補助対象経費総額の25%までを対象とします。
- 採択された場合、補助対象経費は、令和3年6月8日以降のものが対象となります。
- 複数の事業者が連携して同一事業を行う場合、補助金支給合計額は1,000万円までとします。

応募方法

郵送またはEメール

- 募集要領・申請書類を仙台市ホームページよりダウンロードの上、ご申請ください。

採択について

- 応募多数の場合は、書類選考を行う場合があります。
- 書類申請後、事業内容のプレゼンテーションを行っていただく予定です。
- 専門家等による審査会において、提出書類、プレゼンテーション等の内容から審査基準に基づき採択します。

スケジュール

- 令和3年6月8日(火) 募集開始
- 令和3年7月7日(水) 申請書等提出期限
- 令和3年7月中旬 プレゼンテーション/審査会の開催/採択事業決定
- 令和3年11月頃 中間報告会
- 令和4年2月頃 成果報告会
- 令和4年3月中旬 事業実績報告書等提出期限

チャレンジ事業の「活用イメージ」

飲食店×新事業展開



市内生産者さんに地元食材を供給してもらい、自宅でも一流の味を楽しんでもらえるように、レシピ動画付きの地元産中心の食材キット通販を開始。域外在住者にも興味をもってもらえるように、生産者自らが食材へのこだわりを伝えたり、生産している様子の動画も併せて配信。

カラオケ店×新サービス展開



カラオケボックスを経営していたが、空室の有効活用を図るとともに、新たな利用者獲得のため、部屋をテレワークスペースとして利用できるように改修し、シェアリングサービスを新たに提供。

連携
事業

土産店×伝統工芸職人×新商品開発

観光客の減少による土産品の売上の低迷を受け、地元の伝統工芸職人と共同して、SNSでの情報発信とオンライン販売を前提とした若年層向けの新たな土産品を開発。

ダンス教室×新サービス展開

室内での三密の回避と新規受講者の獲得のために、時間や場所に縛られずに受講できるオンライン形式のダンスプログラムを新たに開始。

居酒屋×業態転換

売上が低迷する居酒屋の店舗を改修するとともにオンライン受注システムの導入を行い、看板メニューのテイクアウト専門店に業態転換し、生産性、効率性の向上を目指す。